

レシピエント移植コーディネーターの理念と教育

日本移植学会コーディネーター委員会, レシピエント移植コーディネーター認定合同委員会

1. 前文

医療の中でも、臓器移植医療はドナーとレシピエントの存在によって成立するという際立った特殊性を有するものである。このため、一般的な医療に比べて一段と高い医療倫理が求められとともに、社会への受容・普及のためには限らない透明性の確保が不可欠である。臓器移植医療においては、その客観性と透明性を確保するために、医療チームと患者・家族の間に立ち、公平・公正で検証可能な移植医療の確立と遂行を支える存在としてレシピエント移植コーディネーターが不可欠である。また、患者・家族の利益を失することのないように、医療福祉関係者と連携したチーム医療の実践を通して、臓器移植プロセスの円滑な実施を行うためのコーディネーションとコミュニケーションを促進する存在が求められる。日本移植学会および移植関連学会、研究は、このような立場に立つレシピエント移植コーディネーターを育成するために、その教育と認定のための制度を設けるものである。

2. 理念

レシピエント移植コーディネーターは、個々が所有する医療資格に応じ、臓器移植の全過程において移植医療チーム内外を円滑に調整し、医療チームと患者・家族の間に立って両者の支援を行う。

臓器移植を希望する患者や家族に対しては、専門的かつ総合的医療知識をもとにして、移植医療全般にわたる適切で具体的な情報を提供し、移植医療の選択を考慮する患者や家族の自発的な意思での決定を援助し、患者や家族を擁護する存在として機能し、移植医療の公平性、透明性の向上に資する存在となる。

移植待機中や移植実施後の患者に対しては、継続した生活全般の指導と管理ならびに精神的支援を通して患者の全身状態を常に把握し、医師に適切な情報を提供することによって医師と患者や家族の橋渡しの存在として機能することで、移植医療成績の向上に資する存在となる。

臓器移植実施に際しては、移植医療チームの要となり、習得した臓器移植の専門知識を活かして臓器移植プロセスの円滑なコーディネーションと移植医療チーム内の円滑なコミュニケーションを促進し、安全な移植医療の実践を支える存在であるとともに、いかなる時でも円滑な臓器移植の遂行が可能となるように常に施設内の体制の整備に力を注ぐ存在となる。

臓器移植を受けた患者の管理と精神的援助を通じて、ドナーやその家族による臓器提供の意思を生かす存在となる。

3. 教育の基本方針

< A 項 >

- (1) 倫理的感受性を磨き、倫理観を行動や態度で示すことができ、ドナーの存在を深く理解し、常に患者や家族の立場に立って行動し、自律的意思決定を支援できる能力を育成する。
- (2) 移植前、周術期、遠隔期を通して専門的医学知識と臨床実践能力をもとに患者ケアと管理を担う能力を育成する。

- (3) 臓器移植患者のセルフケア獲得に向けたケアの提供と質の高いクオリティオブライフを維持するために、他の医療職者と連携し継続したケアの提供が実践できる能力を育成する。
- (4) 移植前、周術期、遠隔期を通して移植医療チーム内のコミュニケーションを促進し、患者・家族と移植医療チームをつなぐコミュニケーション能力を育成する。
- (5) 臓器移植の移植前・周術期のプロセスを促進するための諸手続きを理解し、施設内外の医療関係者間を円滑に調整する能力を育成する。
- (6) 生体間臓器移植では、レシピエントとドナー両者の立場を尊重し、両者を擁護できる能力を育成する。
- (7) 生体間臓器移植では、ドナーに対して長期的なフォロー体制の構築と継続したケアの提供が実践できる能力を育成する。

< B 項 >

上記 < A 項 > の(1)から(7)に対し、個々が所有する医療資格に応じて対応できる能力を育成する。

4. 教育目標

< A 項 >

- (1) 臓器移植医療における倫理と関連法律を理解する。
 - 臓器移植に関連する法令について理解する
 - 倫理原則や倫理綱領について理解する
 - 移植を取り巻く倫理問題について理解する
- (2) 臓器移植医療に必要な基礎的知識を理解する
 - 臓器移植におけるドナーおよびドネーションを理解する。
 - 臓器移植の歴史について理解する
 - 臓器移植の適応と疾患について理解する
 - 臓器移植の成績と合併症について理解する
 - 臓器移植手術と周術期の管理について理解する
 - 臓器移植に関連した感染症について理解する
 - 臓器移植に関連した免疫学について理解する
 - 臓器移植に関連した薬物とその管理について理解する
 - 臓器移植に関連した精神神経学について理解する
 - 臓器移植に関連した医療経済と社会資源について理解する
- (3) 臓器移植各期(移植前、周術期、遠隔期)に必要な検査を理解する。
 - 移植評価時に必要な検査について理解する
 - 周術期に行われる検査について理解する
 - 遠隔期に行われる定期フォロー検査について理解する
- (4) 臓器移植各期(移植前、周術期、遠隔期)に必要なケアを理解する。

臓器移植治療を選択する上での患者・家族に対する意思決定支援方法について理解する
臓器移植各期における身体的問題の把握と、その解決に向けた必要な援助について理解する
臓器移植各期における精神的、社会的問題の把握と、その解決に向けた必要な援助について理解する

臓器移植各期における医学的問題に対して、必要な検査や治療が適切に受けられるよう医療チームへのコンサルテーションについて理解する

臓器移植各期において患者を身体的、精神的、社会的に最善の状態に保つための継続ケアについて理解する

臓器移植各期において、円滑な移植プロセスを実践するためのコーディネーションについて理解する

(5) 臓器移植のための登録・実施などに関する手続きを理解する。

日本臓器移植ネットワークへの登録と更新手続きについて理解する

脳死下および心停止下の臓器移植実施時及び実施後の手続きについて理解する

生体間臓器移植時に必要な手続きについて理解する

(6) 日本臓器移植ネットワークの役割や、臓器移植に関わる施設内外の医療関係部門についての役割を理解する。

日本臓器移植ネットワークおよびドナー移植コーディネーターの役割について理解する

臓器移植時に調整が必要な施設内外各部門の役割について理解する

(7) 臓器移植患者のセルフケアに向けた患者ケア・管理を理解する。

セルフケア獲得のための患者・家族指導について理解する

他の医療職者と協働した継続ケアについて理解する

遠隔期の日常生活指導法について理解する

遠隔期の定期フォロー検査実施のための調整方法を理解する

(8) 生体間臓器移植各期(移植前、周術期、遠隔期)に生体ドナーに必要なケアを理解する。

生体間ドナー候補者の自己決定の権利を擁護し、意思決定への支援について理解する

生体間臓器移植各期における生体ドナーの身体的問題の把握と、その解決に向けた必要な援助について理解する

生体間臓器移植各期における生体ドナーの精神的、社会的問題の把握と、その解決に向けた必要な援助について理解する

生体間臓器移植各期における医学的問題に対して、必要な検査や治療が適切に受けられるよう医療チームへのコンサルテーションについて理解する

生体間臓器移植各期において、円滑な移植プロセスを実践するためのコーディネーションについて理解する

生体間臓器移植各期において生体ドナーを身体的、精神的、社会的に最善の状態に保つための継続ケアについて理解する

(9) 良好な対人関係を築くためのコミュニケーション能力を獲得する。

コミュニケーション論を理解する

コミュニケーション技術を習得する

< B 項 >

上記 < A 項 > の(1)から(7)に対し、個々が所有する医療資格に応じて対応できる能力を育成する。

(2011.2.15)